

書窓

Shoso

No.439

2021.12

太子町立図書館 編集発行

〒671-1561
兵庫県揖保郡太子町鰯
1310 番地 7

Tel (079)277-1580
Fax(079)277-5684

子どもの本だな 97

このページは子どもたちにすすめたい本をとりあげています。本を選ぶときの参考にしてください。

グロースターの仕立て屋

ピアトリクス・ポター さく・え いしい ももこ やく (福音館書店)
グロースターの町に貧乏な仕立屋がいました。ある年、クリスマスの日に行われる婚礼の服を頼まれ、生地を裁ち縫うばかりになりましたが糸が足りません。家に帰った仕立屋は猫のシンプキンに糸を頼んだ後、炉の前でぼんやりしながらシンプキンが食器の下に閉じ込めていたネズミを逃がしてしまいます。シンプキンは腹を立てて糸を隠し、仕立屋が病気で寝込んでもネズミをほしがらばかりでした。クリスマス前夜、町中ネズミを探していたシンプキンは仕立屋の店で小さなネズミたちが指ぬきをはめ、針を手に持ち、わらべ歌をうたいながら仕事をしているのを見ました。クリスマスの朝早く、熱の下がった仕立屋が店に行くと、ほとんど出来上がった美しい服に「あな糸がたりぬ」と書いた小さな紙がとめてありました。

ピーターラビットのシリーズの1冊。仕立て屋とネズミたちの仕事ぶりとシンプキンの改心が語られ、不思議なクリスマスの様子と美しい刺繍に目を奪われます。最後にはとても満足しておわる物語です。読んでもらえば5歳くらいから。(西村)

クリスマス・キャロル

ディケンズ 作 脇 明子 訳 (岩波書店)
ロンドンで働くスクルージは気難しく、甥がクリスマスのお祝いに来ても怒って追い返してしまいます。その日の夜、仕事を終えたスクルージの下に、7年前に死んだ共同経営者、マーレイの幽霊が現れ、3人の幽霊が訪れると告げます。スクルージは1人目の幽霊に、自分が若者だった頃のクリスマスの情景を見せられます。そこでは、多くの人がダンスやゲームを楽しみ、スクルージを含めた誰もがクリスマスを心から喜んでいました。またスクルージは、2人目の幽霊に連れられて現在のクリスマスを見て回ります。幽霊は行く先々で人々に祝福を与え、誰もが嬉しさを感じていました。そして最後にやって来た幽霊に、スクルージは未来を見せてもらいます。しかし、スクルージが目にしたのは、誰も悲しまれない孤独な自分の死でした…。

スクルージが、3人の幽霊に連れられて、過去・現在・未来のクリスマスを巡ります。クリスマスを祝う意味や喜びが、スクルージの心の変化とともに丁寧に描かれています。11歳くらいから。(光藤)

お知らせ

クリスマス

おはなしの時間 & 工作教室 12月11日(土)

●クリスマスおはなしの時間

- ①4才~大人 11:00~11:30
- ②小学3年生~大人 11:30~12:00

※要申込。途中からは入れません。時間までにお越しくください。

●どんぐり工作教室

- クリスマスの飾りを作ります。
- ・時間 14:30~15:30
 - ・対象 6歳以上の子ども

(小学3年生までは保護者同伴)

- ・定員 10名(要申込)
- ・参加費 無料

※両行事とも申込が必要です。詳しくは図書館まで。

12月	1月	12・1月の移動図書館 (いずれも木曜日です)					
9日	13日	塚森 地域内 10:30~10:50	沖代 地域内 11:00~11:20	福地(三反長) 地域内 14:30~14:50	米田 公会堂 15:00~15:20	竹広南 公民館 15:30~15:50	
16日	20日			原池団地 公民館 15:00~15:20	山田 掲示板前 15:30~15:50	原 太田東地区 農村交流 センター 16:00~16:20	
23日	27日	広坂 公民館 10:30~10:50	上太田 公民館 11:00~11:20		太子 ニュータウン 公民館 15:30~15:50	吉福 公民館 16:00~16:20	

『nigger ニガー デリック・グレゴリー自伝』 デリック・グレゴリー、ロバート・リップサイト 著

柳下 國興 訳 現代書館 278頁 2021年1月刊 2,300円 (請求記号)779

本書は1960年代、黒人コメディアンの先駆けとなったデリック・グレゴリーの自伝。1932年生まれ、グレゴリーは、アメリカ、セントルイスの貧しい家庭で育った。少年時代は、「ニガー」など黒人を差別する言葉に耐えながら靴磨きをした。近所で一番貧しく、いつもいじめられては泣いて家に帰った。しかしある時、いじめが始まる前にすばやく先制、次々と冗談を繰り出し、相手にスキを与えなくなった。その後は、面白いヤツと評判になり、嘲笑されなくなった。ユーモアとジョークを初めて知るきっかけとなる。

大学生のとき、タレントショーに出場し、優勝したことでコメディアンへの道へ。ショーは、ヤジへの対応で出来が決まるため、気の利いた言葉を即座に言えるように練習した。ナイトクラブでのショーの最中、「ニガー」というヤジが飛んだ。「僕がトリガーだって」(当時の映画界で有名な馬の名前)と返し、観客は大爆笑、空気は一変した。汚い言葉で侮辱するヤジもあつたがそれを超えるトークが冴えわたり、白人達は喜んでお金を出した。

グレゴリーが生涯忘れないショーと語るメリーランド州立刑務所では、囚人が人種ごとに分けられていた。白人と黒人が一緒にショーを見てほしいと席替えを要求した。白人と黒人が笑顔で席を入れ替わり、白人が体の不自由な黒人を真ん中の席に移動させる姿に心打たれた。以後は、時事的問題、人種問題を多く取り上げ、集会やデモにも参加した。公民権運動の活動家との交流で、人種問題がいかに大きく、複雑かを知る。有権者登録の大規模運動のスピーチでは「子供たちのためにも僕らがひとつでも多く人種偏見の扉を蹴り倒したい」と強く訴えた。最後に、「白人は黒人の魂にできたタコを破壊寸前まで締めつけてきたが、僕たちはつぶされなかつた。白人がたつた一言(ニガー)で黒人を圧殺してきたこの体制をかえる。革命を遂げたらもうこの世界にニガーはいない」と締めくくると。壮絶な内容だが、コメディアンらしいユーモアたっぷりの語り口が読者を惹きつける。

(盛岡)



12月の開館日

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	×	8	9	10	11
12	13	×	14	15	16	17
19	20	×	21	22	23	24
26	27	×	28	29	30	31

1月の開館日

日	月	火	水	木	金	土
						×
×	×	×	5	6	7	8
9	10	×	×	13	14	15
16	17	×	18	19	20	21
23	24	×	25	26	27	28
30	31	×				

▶×印は休館日

12/28~1/4 は年末年始
1/12 は祝日の振替
1/31 は館内整理日

※閉館時は返却ポストへ返却してください。ただし、年末年始(12/28~1/4)は、返却ポストの利用はできません。お気をつけください。

▶開館時間は 10:00~18:00
金曜日は 20:00 まで開館

地下水

中学校の図書室に勤めるKさんが、いつも仕事帰りに図書館に立ち寄る。「アーモンド」(ソーン・ウォンピョン著)って読んだ？中学生にどうやる？という問いにどんなものか答えられず、持ち帰った。

自分が読んでみようと思った本におかれ、読まないまま返却日が近づいてきた。慌てて本を開け、字の大きさにほっとしたものの、主人公の感情がない生活に想像がついていかなかった。描かれているものは、本当に感情がない人の世界？感情がなく、本を読むと、何を受け取るのか？自分の思考や生活には、どのくらい感情が入り込んでいるのか？感情がないと、なにかを信じることでできる？とりあえず読み終えたものの、ぐるぐると答えのでないことを考え、ドキドキしてくる。

日中、陽が差し込む部屋のストーブの前で、イギリスの小さな村に暮らす女の子の生活を描いた『キャンドルフォード』を読んでいたときの心地よさとは対照的。

夏に『三びき荒野に行く』を図書館の隅で読んでいた中学生のMちゃんの姿を思い出した。Mちゃんに『アーモンド』を手渡すか？きつと、いまのMちゃんには渡さない。中学生でも読むだろうが、手渡すとなれば、相手による、がKさんへの答えかな。もやもやと感じたことをKさんと話ができればいいと思う。

(竹内)